

移動式クレーン作業計画書

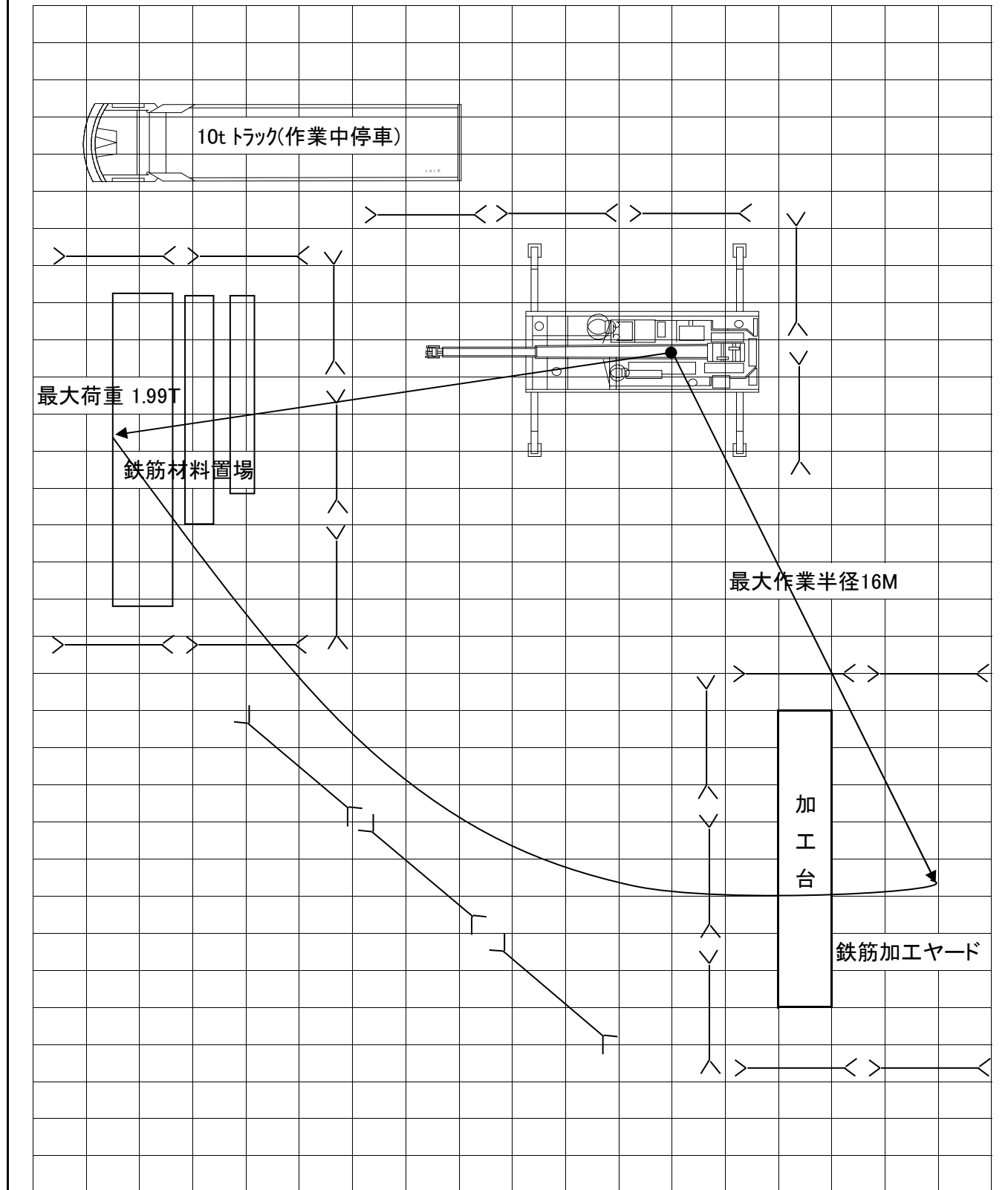
(クレーン等安全規則 第66条の2)

令和2年 9月11日

作業所名	大村作業所	事業者	〇〇建設工事共同 企業体	作成者	池田太郎			
使用機械	型 式	加藤 NK-250-V2		最大作業半径時の定格荷重	24m 1.25 t <small>(フック、吊具等の重量除く)</small>			
	最大吊上げ荷重	25 t						
	最大地上揚程	31.5 m						
作業期間	令和2年9月12日 ~ 令和2年9月30日							
人員配置	作業指揮者	諫早次郎	会社名	△△鉄筋	運 転 者	長崎五郎	会社名	□□重機
	合図者	西三郎	会社名	△△鉄筋	監 視 人	—	会社名	—
	玉掛者	北四郎	会社名	△△鉄筋	玉 掛 者	川棚六郎	会社名	△△鉄筋
作業方法	吊り荷重	名称・形状・寸法	鉄筋(φ13~25、L=5.5m~8m)					
		重量・員数	最大吊り荷重 1.990kg、10束					
	玉掛け	玉掛けワイヤーロープ等	ワイヤーロープ(16mm)・ナイロンスリング・チェーン・その他()					
		玉掛け方法	(2)点吊・目通し吊()					
	合 図 の 方 法	手・旗・笛・無線・その他()						
転倒防止 および 危険防止	敷鉄板・敷き角・敷き板	要・不要	水平架台・サンドル	要・不要				
	上部旋回体範囲内立入禁止措置	バリケード・その他()表示						
	クローラークレーン移動範囲内立入禁止措置	バリケード・その他()表示						
	法肩崩壊防止対策	該当無し・有り()						
	地下埋設物防護対策	該当無し・有り()						
	架空線離隔距離	(一)m	架空線防護	有・無	監 視 人	要・不要		
作業内容	東側鉄筋材料置場から加工場への移動(距離16m)							
安全対策	・介錯ロープを必ず使用し、荷の横振れを防ぐ。							
	・材料は台木に荷下しし、無理にワイヤーを引き抜かない。							
元方指導事項	★吊り荷の下への立入禁止措置							
	★アウトリガーは最大張出し(中間張出しで使用する場合は、張り出しの性能で作業計画する)							
	★安全装置の機能を停止させた運転は禁止 ★定格荷重の厳守							
	・玉掛けワイヤーは支給の認定品を使用すること!							

配置図(作業場所全体を示す平面図、必要に応じて側面図)

図示する事項
 工作物・隣接する建物・道路等・移動式クレーンの配置・移動式クレーンの移動範囲・旋回方向・荷の積卸し位置・障害物(架空線等)・敷鉄板等・
 合図者・監視人・立入禁止範囲・安全通路・その他



統括安全衛生責任者	元方安全衛生管理者	担 当 者